

愛寿会 たより

3月号
第93号
平成19年
3月1日発行



【第二仁生園建設工事の様子
現在、基礎工事が行われております】

からだの不自由な方々の福祉拠点 第二仁生園の建設が進んでいます

社会福祉法人 愛寿会
副理事長 小澤 澄夫

からだの不自由な方といってもその状態はさまざまです。中でも重度であつて、ご本人及びご家族の皆様の考えのもと、しかるべき施設に入所して生活し、機能回復を図り、授産の仕事に携わりたいという方々が相当数いらっしゃいます。

そのご希望に添える施設が県内で峡北にだけありません。

旧長坂町から、約八千平方メートルの町有地を五十年間無償で提供するので愛寿会の手によりこれを建設願えないかとの要請があつたのが平成十五年の夏の終わりでした。

当時、国・地方とも財政窮乏のために国民健康保険、介護保険法の給付水準の引き下げ論等が盛んであり、障害者福祉についても自立への支援に徹すべきとされるなど、財政再建の矛先が俄に福祉に向けられていました。

しかしながら板山賢治理事長を初めとする理事各位は、「愛寿会仁生園は常に県の福祉の先導車の役を果たして来た。身体障害者福祉についてもそうあるべきもの」との理念から、敢えてこの難しい事業に取り組んでくださることになりました。

建設総事業費四億四千万円、国・県・市の補助金は合わせて一億九千七百万円、残り二億四千三百万円は愛寿会が工面することになったのです。この話のそもその頃、私は旧長坂町の責任者の立場にありました。それだ

けに文字通り愛寿会関係者に手を合わせたい心境です。

とりわけ、厚生労働省と格別の絆を有する板山理事長の存在がなかったならば、国費、公費による補助は叶わず、従つてこの施設の建設も陽の目を見ることはなかったと思ひます。

国家財政は一段と険しく、恐らくこの種施設への現行補助制度は新年度からなくなるものと思われまふ。国・県・市が絡んでの身体障害者施設としては全国で最後のものとなるう：そのように私は考えています。

新施設で、三十人が楽しく暮らし、在る能力を最大限に発揮し、可能な限り自立を求めていくのです。ご家族をはじめ関係の皆様方の施設への期待も特別のものがあるうと思ひます。

長坂駅方面から三分一湧水に向かって北上すると小泉小学校があります。すぐ目の前に信号機のある交差点を右折し、二百メートル進むと左側に鉄筋の建物を目にする事ができます。それが第二仁生園です。

昨年十月から今の仁生園の中に第二仁生園開設準備室を設けオープンに備えています。新しい施設に勤務する職員の採用も終えました。

間もなく県と協議しながら入所者を決めていきます。その状況等はこの「たより」でお知らせして参ります。

からだの不自由な皆様にとつての福祉の拠点づくり…もう一息です。ご期待ください。

(元長坂町長)

料金後納
郵便

差出人(差出発送代行)
7-4
佐川物流サービス(株)
返送先: 〒140-0012
品川区勝島1-1-1

申子小包

この荷物をご依頼人様からお預かりした荷物を当社が差出人となって発送代行いたします。

— 研修報告 —

「高齢者の為のアクティビティ」
に参加して

ケアワーカー 森田 悦子

私は、福祉プラザにて行われた研修会に参加させていただきました。

アクティビティとは、生きがい活動のことでレクリエーション、創作活動があります。これらをなぜ行うか、どのように行うか、どのような効果を得られるかを学びました。効果は、①集団の連帯感、②身体機能・認知機能・体力の維持・向上、③余暇の楽しみの三つが挙げられ、アクティビティの重要性を実感しました。

また、歌の効用は、①腹式呼吸、②全身運動、③ストレス解消、④脳の活性化、⑤肺活量増加の五つが挙げられます。歌は、人と人の壁を取り払い、気持ちを一つにしてくれるということです。実際に施設内でも歌を歌うと、利用者の方へとても喜ばれます。スタッフも楽しまなければ相手も楽しくないという言葉も心に残りました。

今回の研修で学んだことを、これからの仕事に生かしていきたいと思っています。

「接遇マナー研修」に参加して

ケアワーカー 小林 陽子

今回この研修に参加させていただき、普段行っている介護にプラスアルファすることでもっとより良い接遇が出来るのではと感じた講義でした。又、同じことをしていてもその仕事をひと工夫することで見違えるほど良くなる事。心のこもった声掛けと介助。ご家族は私たち職員の働く姿を見るだけで、その施設の程度がわかると言われます。職員一人ひとりの責任の重大さ、これらのことを感じながら毎日、その時々に応じた行動を心がけていきたいです。

この講義の中で一番大切なこととして、一緒に働く仲間に対しての思いやり、まず仲間同士の意思疎通の大切さを学びました。働く仲間が楽しく働ける職場だから、介護にも余裕が出来る。自分の周りが安定しているからこそ、良い介護が出来る。毎日の生活の中で普段から出来ることを、忙しい中でも意識して出来る様な介護を仲間と一緒に話し合っていきたいと思いました。

「フットケア研修」に参加して

ケアワーカー 斉藤 めぐみ

私は、福祉プラザにて行われたフットケア研修会に参加してきました。今まであまり関心もたれていなかった爪について詳しく教えていただき、とても勉強になりました。

足・爪は、立つ・歩く事で快適に人生を過ごす上で重要な要素であり、介護サービスの基本となっております。爪の異常や足指の変形などが高齢者の方々に多く、歩行の不安定や転倒の危険につながっており、寝たきりになる現状もあります。そうした事を未然に予防し、正しい爪の切り方、足の異常の早期発見や治療など、ケアの仕方によりいつまでも健康な足を保つことが出来ます。

今回研修に参加し、フットケアの重要性や正しいケアの仕方を多く学びました。これらを介護者に伝達し、入所者の方々に実践していきたいと思っています。



— 社会福祉士現場実習 —

実習を終えて

健康科学大学三年 功刀 裕太

十二日間の実習をさせていただきありがとうございます。ありがとうございました。

この期間中、デイサービスで五日、グループホームで二日、居宅介護支援事業所で二日、特別養護老人ホームで四日、それぞれ実習させていただきました。

今回は社会福祉士の実習でしたが、実際現場に出てみるとわからない貴重な体験をすることが出来ました。普段、大学では習わない利用者の方に対する介助の仕方や接し方を学ぶことができて良かったです。

実習が始まった頃は、何をするか分からずに戸惑い立ち尽くしてしまう場面が多かったです。特に苦労したことは、利用者の方とのコミュニケーションでした。どんな話をしていいのかわからず、会話が途中で止まってしまうなど、なかなか上手く接することができませんでしたが、徐々にコミュニケーションも取れるようになって、その大切を改めて感じることができました。

二週間という短い期間でしたが、利用者の方が安全に且つ健康的に生活していく上で重要なことをたくさん学ぶことができた実習となりました。どうもありがとうございます。

— 帝京高校ヘルパー実習 —

二月中、六回にわたり行われた帝京高校のヘルパー実習に参加された生徒のみな様の感想と反省を一部掲載いたします。

実習生 S. M さん

仁生園で実習を行って感じたことは、思っていた以上に大変な仕事だということでした。

入居者の方と対話するとき、最初はどのようにしたら良いか少し戸惑ったこともありました。入居者の方から話し掛けてくれたおかげで会話はずみ、とても楽しかったです。他にもボール投げや輪投げをしたりしました。

食事介助では、「私がやって大丈夫かな」と不安もありましたが、職員の方にやさしく指導していただき、とても良い環境の中で実習させていただくことが出来ました。

この仕事は大変だと思いますが、とてもやりがいのある仕事だと感じました。本当に良い実習をさせて頂きました。

実習生 S. O さん

今回で二回目の実習ですが、入居者の方々が私のことを覚えていてくれたことが

とても嬉しかったです。

今回は、居室の掃除や食事、おやつの手伝いなどをしました。食事介助が上手く出来てよかったです。スタッフの方々も忙しい中、私たちに入居者一人ひとりに対しての介助方法を教えてくれ、個別対応の大切さと難しさを学ぶことが出来ました。その他、お散歩に出たり、お話をしたり、ボールで遊んだりと楽しく実習をさせていただきました。

また仁生園で実習をさせてもらいたいです。スタッフの方々もみんな優しく、将来ここで働きたいと思いました。どうもありがとうございます。

実習生 N. K さん

今回の実習では、前回の実習の時より仕事の内容を把握できていたのでスムーズに行うことが出来ました。

それから、前回は利用者の方と上手く話すことが出来なかったのですが、今回はたくさんお話が出来て本当によかったです。カルタなどもして色々触れ合うことが出来てよかったです。

二日間の実習で良い経験が出来たし、良い勉強になりました。この経験を生かしてこれからも頑張りたいと思います。ありがとうございました。

― 二月の行事から ―

節分

二月三日、本年も節分の日に入居者の方々と職員が中心となり、豆まきを行いました。

鬼に扮した職員めがけ、「鬼は外！福は内！」と言いながら、今年も元気に過ごせますようにと、願いを込めながら豆を投げました。



【力強く豆を投げていらっしゃいました】

ご家族のみな様へお願い

ご登録いただいた緊急連絡先または医療保険証等に変更がある場合には、仁生園までご連絡ください。

担当 相談員 坂本 仁

く デイサービスだより く

デイサービスで恒例としている「ちぎり絵」を今回も利用者の方々と職員一同で協力し完成させました。作品は、今年の干支である「亥」をテーマに二ヶ月ほど作り上げました。

作り方は、障子紙を色染めし、それを細かくちぎり、のりで貼り付けていくものです。絵が完成に近づくにつれて、温泉に入っていると、多くの利用者の方々の感嘆の声が聞かれました。

このちぎり絵は、デイサービスセンター内の壁に展示されており、機会がありましたら、是非ご覧になってください。



【ちぎり絵を背に記念撮影です】

ご芳情 (二月一日～二月二十八日)

- ・レクボランテイアほがらかグループ
- ・レクボランテイアゆずっこの会
- ・天理教北巨摩支部
- ・北杜市 金曜会
- ・北杜市 山鳩の会
- ・北杜市 保坂 多枝子
- ・北杜市 小野寺 毅
- ・北杜市 長坂町民生児童委員

様 様 様 様 様 様 様 様

利用者状況 (二月末現在)

特別養護老人ホーム	一三二名
ショートステイセンター	十〇・六一名
デイサービスセンター	北杜市・他市町村 一一一名
グループホーム	やすらぎ 九名
生活支援ハウス	こあらま 六名



.....
仁生園のサービスに何かご意見、ご要望や苦情などございましたらこちらまでお寄せ下さい。電話0551-32-3340

担当 清水 俊彦